

平成30年度事業計画

(基本方針)

本県の観光を取り巻く状況は、熊本地震で落ち込んだ入込観光客数が順調に回復する中、ゴールデンスポーツイヤーズや国民文化祭等、旅行需要を高めるビッグイベントを控え、入込観光客数を増加させる絶好の機会を迎えている。

そのような中、県においては、「観光みやざき未来創造基金」を設置し、5年間にわたり観光分野の振興に取り組んでいく方針が打ち出されたところである。

当協会としては、この追い風を受けて、県が策定した「宮崎県総合計画」や「宮崎県観光振興計画」等を踏まえ、神話や伝統文化、豊かな自然など本県ならではの地域資源を生かした「魅力ある観光地域づくりの推進」、「外国人旅行者の誘客強化と受入環境整備」、スポーツ環境を生かした「新たなスポーツ大会・合宿の誘致」、及び「MICE誘致の更なる強化」を重点に、県、市町村、民間事業者等との連携を一層密にしながら、本県の観光振興に取り組む。

〈参考〉

- ゴールデンスポーツイヤーズ
 - ・2019ラグビーワールドカップ 2019年9月20日～11月2日
 - ・東京オリンピック 2020年7月24日～8月9日
 - ・東京パラリンピック 2020年8月25日～9月6日
 - ・ワールドマスターズゲームズ関西 2021年5月中旬～5月下旬
- 第35回国民文化祭・第20回全国障害者芸術文化祭
2020年10月17日～12月6日

(重点事項)

1 魅力ある観光地域づくりの推進

観光交流人口の拡大が期待される中、誘客プロモーションの展開や滞在型旅行企画の提案、受入環境体制の整備を図り、新たな「観光みやざき」の推進に取り組む。

また、多様化する観光ニーズに応えるため、宮崎版DMOの取組を着実に進め、地域と連携して、地域にある体験・交流型の観光素材を掘り起こし、磨き上げるとともに、商品として販売につなげる。

<主な取り組み>

- ・国内誘客プロモーションの展開
- ・宮崎版DMOの推進
- ・観光地域づくりの推進

2 外国人旅行者の誘客強化と受入環境整備

本県の神話や伝統文化、豊かな自然など観光情報を、誘客プロモーションやインターネット等により発信し、本県への旅行意欲を喚起していくとともに、外国人旅行者に快適な旅行環境を提供するための受入環境の整備に取り組む。

<主な取り組み>

- ・国外誘客プロモーションの展開
- ・外国人旅行者向け体験・交流型の観光プログラムの集約と配信
- ・関係機関と連携した一次交通及び二次交通情報の提供

3 新たなスポーツ大会・合宿の誘致

キャンプ・合宿の「全県化」、「多種目化」、「通年化」の実現に向けて、本県のスポーツ関係者等と連携を図りながら、アマチュアのスポーツ大会や日本代表チームの合宿等新たなスポーツ大会・合宿の誘致に積極的に取り組むほか、東京オリンピック・パラリンピック等の直前合宿の実現に向けて関係機関との連携強化を図る。

<主な取り組み>

- ・国際的なスポーツ大会の開催支援
- ・武道や屋内競技などの新たな種目の合宿誘致

4 MICE誘致の更なる強化

MICEアンバサダー（5人）との連携強化を図りながら、新たな誘致セールス先を開拓するとともに、29年度から始めた関西地区セールスに重点的に取り組む。

<主な取り組み>

- ・MICEアンバサダーとのさらなる連携強化
- ・関西地区のMICE誘致セールスの強化

I 観光振興【165,261千円】

1 観光情報発信・知名度向上対策事業

本県の魅力を伝える誘客プロモーションの展開や国内最大級の旅行博への出展等により本県の知名度向上を図るとともに、本県のタイムリーな観光情報を発信・提供する。

(1) 本県知名度向上のため誘客プロモーションの展開等

- ・ ツーリズムEXPOジャパン（9月：東京）

⑧ ・ 交通機関等と連携したプロモーションの展開等

(2) 協会HP「旬ナビ」（英語ほか6言語対応）による情報発信

- ・ 平成29年度アクセス件数（4～1月） 201万6千件

(3) NHK宮崎放送局枠を活用した県内イベント等のPR

- ・ 「NHKニュースイブニング宮崎」での情報発信 年間26回

2 旅行商品造成に向けた取り組み

本県への誘客を図るため、旅行会社等が企画する旅行商品に対する支援や観光素材説明会での本県観光PRを行い、宮崎の素材を生かした「新しい宮崎旅行」の造成を支援する。

(1) 旅行会社等との連携・造成支援

- ・ 新たなテーマによる旅行商品の造成に対する支援

⑧ ・ 「スポーツランドみやざき」を生かした誘客プロモーションや旅行会社等との連携・造成事業に対する支援。

(2) 旅行商品造成のための観光素材等説明会への参加

- ・ 2018年下期（4～5月：東京、名古屋、大阪、広島、福岡）
- ・ 2019年上期（8～10月：東京、名古屋、大阪、福岡）

3 宮崎版DMOの推進

県内を4ブロック（県北、県央、県西、県南）に分け、広域での周遊ルートづくりと体験・交流型観光体験メニューの磨き上げを図るとともに、「宮崎ならではの強み」を生かした魅力ある旅行企画の提案等、商品化に向けた取組を支援する。

(1) 体験・交流型観光素材の商品化に向けた取組支援

⑧ ・ 「体験クーポンを組み込んだ旅行商品」を核とした販売戦略の展開（旅行会社との連携）

⑧ ・ 旅行商品の効果的な周知と利用促進の仕組みづくりの構築

(2) 宮崎ならではの強みを生かした旅行企画等の提案

- ・高千穂郷・椎葉山地域世界農業遺産をテーマにした新たな旅行商品の造成
- ・出荷量日本一の本格焼酎をテーマにした旅行企画の提案

4 観光地域づくりの推進

地域が主体となって進める新たな観光地づくりについて、地域の認知度向上や誘客促進に繋がり、継続性や地域の連携が図れる取組等への支援を行う。

5 教育旅行誘致

行政機関・団体、民間事業者等で構成する宮崎県教育旅行誘致推進協議会において、オールみやざき体制で誘致に取り組み、国内外からの教育旅行の誘客を図る。

(1) 国内誘致対策

- ・関西地区をメインターゲットに教職員及び旅行会社等の招請事業を実施
- ・国内主要都市での誘致セールスを実施

(2) 国外誘致対策

- ・本県への教育旅行の伸びが著しい台湾をメインターゲットに招請事業及び現地セールスを実施

6 東九州自動車道を活用した誘客

大分県と設立した東九州広域観光協議会において、北部九州、中国・四国地域をターゲットに、東九州エリアへの誘客を促進する。

(1) NEXCO西日本との連携

- ・九州周遊ドライブパスとの連携や高速道サービスエリアや道の駅等でのPR事業を実施

(2) 共同セールス・PRイベントの実施

- ・マスメディア等を活用した共同PR事業を実施

7 インバウンド対策

定期便が就航する国と地域を中心に誘致・PRを強化するとともに、欧米豪からの外国人旅行者を本県へ誘導するための取組を展開し、本県における外国人旅行者数の拡大を目指す。

(1) 外国人旅行者数拡大のための取組

地域の特性や市場ニーズに適した誘客プロモーション・セールス等を実施する。

①アジア《韓国、台湾、香港、中国、タイ》

・旅行博への出展事業

台湾：ITF台北国際旅行博 (11月)

香港：ITE香港国際旅遊博 (6月)

タイ：TITFタイ国際旅行フェア (2月)

- ⑧ ・台湾における宮崎観光商談会の開催(6月または8月)
- ・メディア、航空会社等の媒体を活用した情報発信
- ・旅行会社、プロガー等の招請
- ・一般観光客向け旅行商品及びテーマ型旅行商品の造成支援

②欧米豪《英国、ドイツ、フランス、アメリカ、オーストラリア》

- ⑧ ・国際路線を有する国内航空会社と連携したPR
- ⑧ ・メディア、webサイト等を活用した情報発信

③VJ地方連携事業への参画

(VJ事業：国が推進する外国人旅行者の増加を目的とした訪日プロモーション事業)

- ・九州観光説明会・商談会(ソウル、釜山 各1回)
- ・九州観光説明会・商談会(台北、台中、高雄 各1回)
- ⑧ ・バスを活用した台湾FIT向け情報発信(大分県、北九州市、西日本鉄道(株)との連携)
- ・香港メディアを活用したFIT向け情報発信(九州観光推進機構との連携)
- ・タイ旅行会社と連携したFIT向けの情報発信(九州観光推進機構との連携)
- ⑧ ・宮崎空港及び鹿児島空港を活用したタイからの誘客PR(鹿児島県との連携)
- ⑧ ・ラグビーワールドカップ公式旅行代理店の招請(九州観光推進機構との連携)

④クルーズ船誘致

- ・宮崎市、日南市、日向市等との連携による誘致セールス
- ・メディア、web等を活用した情報発信
- ・クルーズ船社等の招請

(2) 外国人旅行者の受入環境整備

- ⑨ ・外国人旅行者向け体験・交流型観光プログラムの集約と配信
- ⑨ ・一次交通及び二次交通情報の提供
- ⑨ ・外国人旅行者おもてなし研修の開催

Ⅱ スポーツランド推進【47,854千円】

1 スポーツイベント等開催促進

国際大会など経済効果の高いスポーツイベント等に対し、開催経費の一部を助成する。

- ⑨ ・ポニーリーグ アジアパシフィックゾーントーナメント(7月)
- ⑨ ・プロ野球オリックス・バファローズ公式戦(8月)
- ⑨ ・ALL JAPAN SURFING GRANDCHAMPION GAMES(10月)
 - ・ITUトライアスロンワールドカップ宮崎大会(11月)
 - ※ ITU:国際トライアスロン連合
 - ・第32回青島太平洋マラソン(12月)
 - ・三大ゴルフトーナメント
 - ダンロップフェニックス(11月)、リコーカップ(11月)、
 - アクサレディース(3月)

2 スポーツキャンプ等受入支援

本県でキャンプを行うプロ野球やプロサッカーチームなどに対する県産品贈呈のほか、市町村が行うキャンプ受入歓迎事業等への支援や本県で初めて合宿するアマチュアスポーツチームに対しては合宿経費の一部を助成する。

- ・巨人軍物産展、シャビットバス運行などプロ野球一軍5球団へ盛り上げ支援
- ・プロ野球、サッカーJリーグ等のチームに宮崎牛などの県産品を贈呈
- ・各種競技の日本代表チーム等に県産品を贈呈
- ・エアポートボールパーク2019への開催支援

3 誘致セールス・PR活動

大学、実業団等を対象に誘致セールスやセミナーを実施するとともに、スポーツ競技団体等のキーパーソンを招請し、スポーツ施設や宿泊施設等の受入環境をPRする。

- ・スポーツ合宿誘致セールスを実施(関東、関西、九州、韓国)

4 東京オリンピック・パラリンピック等受入連携強化

2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けた国内外代表チームの直前合宿の実現のため、関係自治体や競技団体等と情報共有を密に図るなど連携を強化する。

5 スポーツメディカル推進

本県でキャンプ（合宿）を実施するアスリートがメディカルチェックを受ける際の費用の一部を助成する。

6 宮崎球援プロジェクト

「みやざきフェニックスリーグ」期間中に、プロ野球選手会、日本野球機構と連携し、「プロ野球選手とキャッチボールしよう！」イベントを実施する。

7 ゴルフ王国宮崎振興

県内で開催されるゴルフトーナメントへの県内外からの誘客を促進する。

Ⅲ MICE推進【67,224千円】

1 MICE推進体制

(1) みやざきMICE推進協議会を通じた誘致の推進

協議会と連携した受入体制の拡充や官民一体となった誘致を推進する。

(2) 総会・講演会の開催

産学官が連携してMICEを誘致する機運の醸成等を行うため、MICE推進協議会総会を開催するとともに講演会を開催する。

(3) MICEアンバサダー任命

MICE開催地としてのプレゼンス向上のため、学識・経験があり、専門分野において影響力のある人財をアンバサダーに任命し、本県へのMICE誘致活動を推進する。

(4) MICE功労者表彰

本県でのMICE開催に特段の貢献をされた個人・団体を表彰し、MICE誘致の気運の醸成と関係者の意識の向上を図る。

2 MICE誘致

(1) 個別誘致セールス

大都市圏の学術会議事務局や大学、企業、さらに県内の大学や各種団体等への定期訪問をさらに強化する。

(2) MICEキーパーソン招請

学会関係者等MICE開催地決定に影響力のあるキーパーソンや、インセンティブ旅行等を扱う国内外の旅行業者を招請し、宮崎のMICE施設や観光地等の視察を実施し、開催地決定に繋げる。

(3) 国内MICE誘致

国内で開催されるMICE商談会（日本政府観光局(JNTO)等主催）に参加し、MICE開催補助金等の説明を行い、MICE誘致を積極的に行う。

(4) 国際MICE誘致

国際MICE、訪日インセンティブ旅行の誘致を図るため、日本政府観光局（JNTO）主催等の商談会・見本市への参加、さらに個別セールスを実施する。

(5) 学術会議等誘致推進懇談会

学術会議等の主催者や大学・企業関係者を対象に誘致推進懇談会を開催し、MICE開催補助金制度などの説明や情報交換会を行い、MICE誘致に繋げる。

3 MICE開催支援

(1) MICE開催補助金交付

MICE開催補助金交付要綱の基準を満たす九州規模以上の大会及び訪日インセンティブ旅行取扱エージェント等について、補助金を交付する。

<平成30年度の主なMICE>

- ・第91回日本内分泌学会学術総会

4月26～28日 参加者2,000人 延宿泊者 4,000人

- ・言語リソースと評価に関する会議(LREC)

(Language Resources and Evaluation Conference 11th edition2018)

5月7～12日 参加者1,000人 延宿泊者 5,000人

- ・フォーティズ 全日本セミナー 2018
8月27～29日 参加者 3,000人 延宿泊者 6,000人
- ・日本青年会議所全国大会 第67回全国大会
10月4～7日 参加者 最大で1日当たり約 13,000人
延宿泊者 15,000人
- ・IEEEシステム・マン・サイバネティクス2018
10月7～10日 参加者 600人 延宿泊者 2,300人
- ・一般社団法人茶道裏千家淡交会第59回九州地区大会
11月3～4日 参加者 3,000人 延宿泊者 3,000人
- ・日本商工会議所青年部第38回全国大会
3月6～10日 参加者 最大で1日当たり約 7,000人
延宿泊者 14,000人

(2) その他支援

(1)の開催補助金の交付対象外のMICEについて、歓迎看板設置や郷土芸能披露の支援の他、観光パンフレット、飲食店ガイドマップ等を提供する。

4 広報・宣伝

MICEセールス用パンフレットやHP「旬ナビ」のほか、学会の機関紙等で、“みやざきMICE”の魅力を広く情報発信し、本県のイメージ・ブランドカアップを図る。

5 調査・企画・開発

(1) 調査・企画

MICE開催情報の収集・企画等を行う。

(2) 研修等参加

MICE推進団体の会議や研修に参加し、職員のMICE業務能力向上、情報収集力を高めるとともに、交流によるネットワークづくりを図る。